

# 竹田市立南部幼稚園 12月上旬(12月5日~15日) 表現あそび「南幼ソーランをしよう!」

【ねらい】共通の目的に向かって考えを出し合い、工夫して表現することを楽しみ、みんなで作りあげていく充実感を味わう。

【内容】発表会に向けて、踊りの内容や見せ方を自分たちで考え工夫しながら、クラス全員で表現あそびを楽しむ。

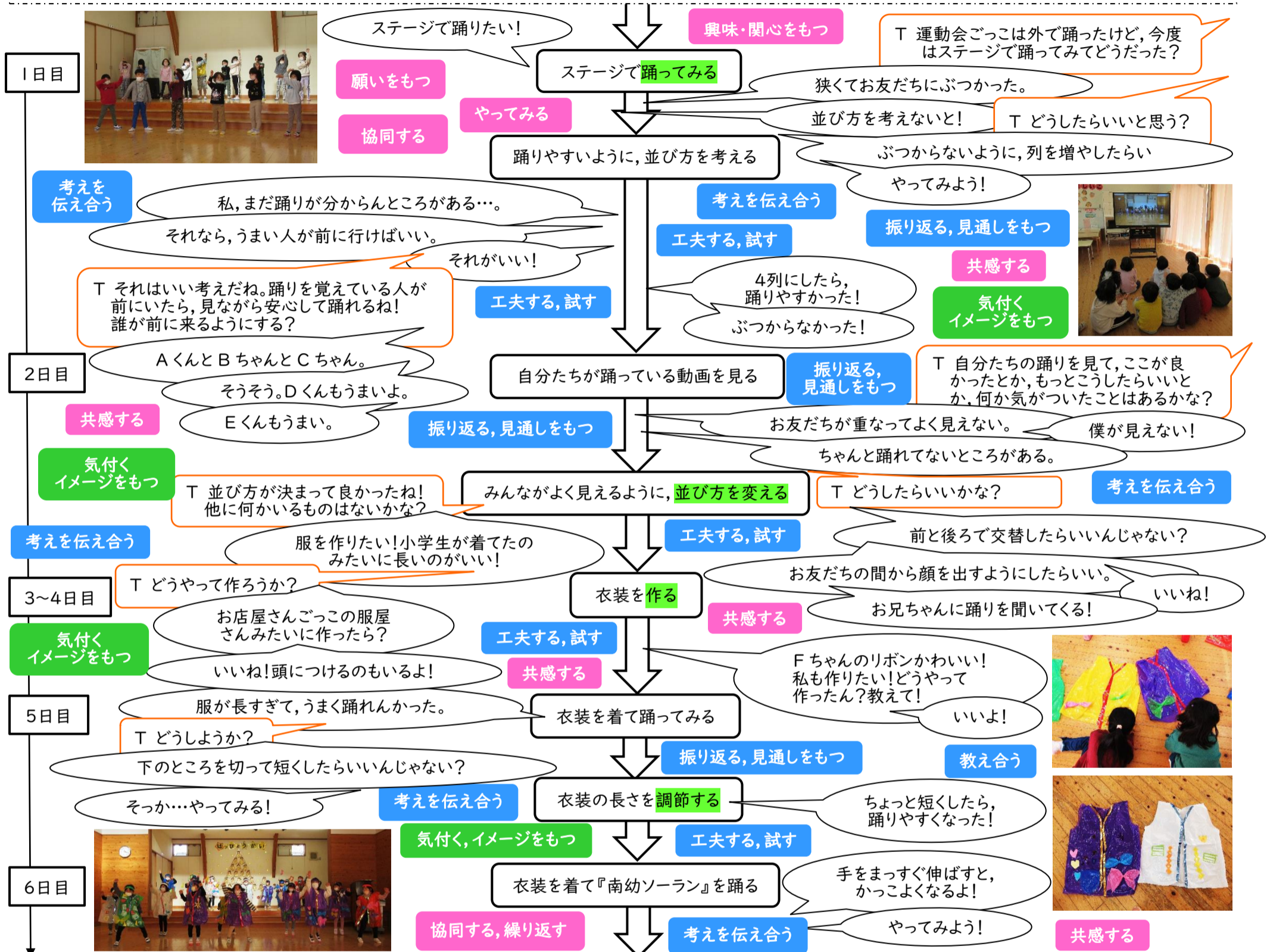
【遊びのプロセス】\*遊びの中で育まれている資質・能力を下のように表している

知識・技能の基礎 知識・技能の基礎

思考力・判断力・表現力等の基礎

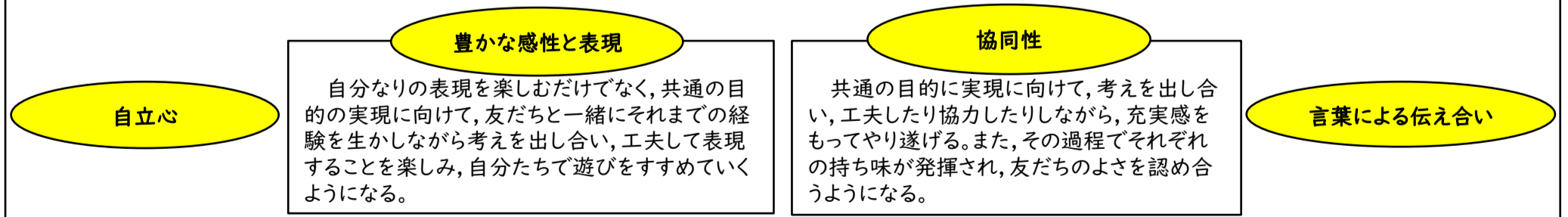
学びに向かう力・人間性等

9月の幼小合同運動会に参加した子どもたちは、小学生の全校リズム『南小ソーラン』に憧れを持ち、自分たちも「踊りたい!」という願いを持った。保育者が小学校からCDを借りてくると、毎日自分たちで曲をかけ、友だち同士で教え合いながら夢中になって踊る姿が見られた。また『運動会ごっこ』でも、『南幼ソーラン』としてプログラムに取り入れ、クラス全員で楽しんだ。11月になり、発表会に向けての表現あそびを楽しむ中で、子どもたちは「『南幼ソーラン』をおうちの人に見てもらいたい!」というさらなる願いをもち、発表会のプログラムにも取り入れることになった。



□環境の構成 ◇援助のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>□子どもたちが興味を持った『南小ソーラン』の CD と CD デッキを用意し、自分たちで曲をかけてくり返し楽しむことができるようにする。</li> <li>□タブレットや大型提示装置を活用し、自分たちの姿を客観的に見ることで、もっと良くなるためにどうしたらいいかを考えられるようにする。</li> <li>□普段から多様な素材や道具に触れられるよう、また、使いたい時に自分たちで出して遊べるように配置しておくとともに、子どもの要望や状況に応じたタイミングで必要な素材や道具を提示する。</li> <li>◇子どもたちがこれまでの自分の経験をもとに考えたり、工夫したりすることができるように、タイミングを見て声をかけるようにする。</li> <li>◇保育者から働きかけるのではなく、振り返りの場を持ち、子どもたちの困りや気づきからどうしたらいいかをみんなで考えるようにする。</li> </ul>
--------------------	---

## 【本活動・遊びで着目したい「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」】



《知識・技能の基礎》	《思考力・判断力・表現力等の基礎》	《学びに向かう力・人間性等》
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会のプログラムとして、みんなの踊りがお客さんによく見えるようにするにはどうしたらいいかや、もっとかっこよく踊るためにはどうしたらいいかに気付く。</li> <li>・踊りに必要な衣装を自分たちで作る、必要に応じて調整する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気付いたことを自分なりの言葉で表現し、伝える。</li> <li>・これまでに経験してきたことを活用し、もっと良くなるためにどうしたらいいかを考え工夫する。</li> <li>・友だちの気づきや考えを自分も取り入れ、遊びをさらに発展させたり、新しい考えを導き出したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好奇心をもち、主体的に遊ぶ。</li> <li>・目的を共有し、話し合ったり、時には折り合いをつけたりして協力する。</li> <li>・友だちの気づきや考えに共感したり、友だちのよさに気づき、認めたりする。</li> </ul>